

何が何でも乗っ込みグロを釣るぞ

佐多岬『横瀬の船着け』

野間辰美

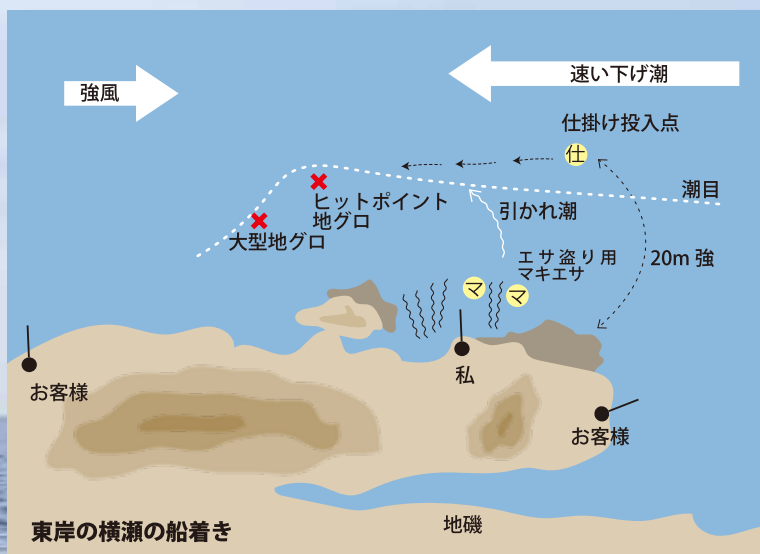
1月29日(日)に本土最南端の佐多岬(田尻港)に行ってきました。前日にお世話になる『このみ丸』の船長に予約を入れてお話を伺うと、水温が高めで19度ぐらいとのこと、黒潮の影響なのか今の時期にしては約2度ぐらい高い感じがします。

また、北西の風が強く西磯は使えず、ビロー島から東岸の地磯つたいがメインの釣り場になります。私たちは、足場が比較的よい『横瀬の船着け』に乗せてもらうことに、はたしてどうなるのでしょうか？

久しぶりの佐多岬で少し高揚しており、港を出航して渡船に乗っている間もずっと瀬を見ていると、若かりしころ、通い詰めていたときが走馬灯のようによみがえってきて、懐かしさや悔しさ、はにかしい思い出など、私を育ててくれた佐多岬です。

さて本題に戻り、私たちは東岸の『横瀬の船着け』という磯に乗礁してさっそく、マキエサ作りの前に見える範囲に釣り人が約10名ぐらい乗っており、早い人は釣りをスタートしており、釣りの勢いというか熱さを感じられ、私も頑張らねばとスイッチが入ります。

久しぶりの佐多岬



佐多岬一帯を案内してくれる、このみ丸(柳川船長) 080-5245-3607 親切な船長は人気が高い。



スタート時は釣研のニューゼクトMRのBで様子みます。



状況に合うように仕掛けを変えていくのも楽しみです！

乗っ込みグロという呼び方は正式な言い方ではなく、釣り人が勝手に言い始めた言い方で、産卵を控えたクロが磯についたノリなどを食べるために、群れで磯場へ入り込んで来るので乗っ込みグロと呼んだり、産卵直前の、まん丸な魚体を見て白子や真子がパンパンになっているのを乗っ込み状態だと言ったりしているうちに、いつしか寒グロの今の時期(1月~3月)のデカグロのことを乗っ込みグロと呼ぶようになっていきます。あくまでも、まん丸のデカグロですヨ！サイズ的には40cmオーバーはほしいところですね！

ただし、この乗っ込みグロですが、産卵前なので神経質で動きも活発ではない。さらに海水温が一年でもっとも低い時期になるので少し難しくなりますが、「自然に逆らわず、目の前の潮を素直に受け取め、フカセ釣りの基本をすれば何とかなると思っています」(カッコ良くない！)

乗っ込みグロ

クロ釣りファンの皆様、今年の寒グロはどうですか？釣れてますか。バッチリですか？

私は、まずまずと言いたいところですが、数型とももう少しといった感じです。私を含めて、まだ物足りないと思うている方々のために、寒グロラストスパートのこれからの乗っ込みグロを、私なりの見解ですが考えてみようと思います。